

11月24日(水)金沢ニューグランドホテルにて第1474回通常例会が開催されました。堀岡会長挨拶では冒頭に、例会前に行われたライオンズ塾での内山祥一L.よりクラブの会計処理についてのお話「内山祥一L.には感謝申し上げます。素晴らしい内容ですので幹事未経験の若手メンバーに資料を配布しようと思います」と話されました。引き続き「仁徳天皇のかまど」「七五三」についてお話しされました。仁徳天皇が凶作により庶民が煮炊きできない状況を知り、以後3年間、税の徴収を停止したことで、その後庶民のかまどから再び煙が上がったという逸話を紹介されました。私見として、国内政治では給付の話が出ているが、例えば所得税や自動車税等を取らない方が、国民が使えるお金も出てくるし、事務的にも簡潔が良いと思います。霞が関、永田町の住人にこの逸話を読んで欲しいと話されました。また、11月15日は平安時代より続く七五三で、三才「髪置きの儀」、五才「袴の儀」、七才「帯解の儀」を祝事とされていると紹介されました。最後にうれしい話として、来年1月より越田正人L.と紺谷修L.がカムバックされる事をご報告し挨拶されました。



メンバースピーチ 裏野 L.

メンバースピーチは中日新聞北陸本社の裏野衛L.で「新聞社の現状」と題してありました。

「弊社は中日新聞、北陸中日新聞、東京新聞その他4紙を発行しています。業界の売上ピークは2000年の2兆5千億で現在は40%減少し、総発行部数ピークは1997年の5376万部で、25年間で45%減少し業界全体の落ち込みが激しいです。若い世代の新聞離れやスマホなどの普及、新聞社がプラットフォームに無料安価での記事提供や記事引用の黙認などが原因で悲惨な現状があると言われています。日本の新聞社は、個別配達網によって収入が支えられています。この配達網をどう守っていくのが課題で、配達網を担う販売店を地域の見守り、活性化に欠かせない組織にするのが私どもの使命です。」と話されました。

【金沢東LC・大垣LC合同U-10フットサル交流試合】



11月27日(日)岐阜県垂井町のキャプテン翼スタジアムにおいて交流試合を行いました。参加者全員が事前に抗体検査を実施し感染対策万全でのアクティビティ実施となりました。試合は、先の金沢大会での上位3チームと大垣3チームが総当たり戦9試合を戦い、今回は金沢チーム圧勝の結果でしたが、閉会式ではプレーできることの感謝と、お互いの健闘をたたえ合い、来年の再戦を誓い合いました。

【卯辰山清掃活動】

12月5日(日)卯辰山の清掃活動を実施しました。前日までの雨も止み、気温4度と底冷えのする曇り空でしたが、22名の参加で卯辰山花菖蒲園、三社の杜へ向かう階段付近の清掃を行いました。



清掃後の綺麗になった花菖蒲園

紅葉で散った落ち葉が雨に濡れ拾いにくい状況でいしたが、様々な道具を駆使して無事綺麗にすることが出来ました。参加者の皆さん大変お疲れ様でした。(鳥居L.)